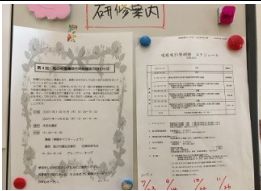


報告事項		内 容	
被監査事業所名		重心通所さくら	
監査実施日		実施日時: 2017年 11 月 1 日 (月) 9 :30 ~ 12 :00	
監査結果		<p><監査人の総評></p> <ul style="list-style-type: none"> ・KAZEGRAMを確認しなくても、スタッフの活動内容の基本がKAZEGRAMに準じたものだった。室内環境は、清潔が保たれていた。 ・マンツーマンのケアについては、キャンセルが多くなる現状を踏まえて人員の配置や連絡等が複雑になっている印象を受けた。 ・個々に合わせた非常用品が用意されていた。 <p><被監査事業所のコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、職員ともに漸増している状況で、連絡・情報伝達が複雑になってきているのはご指摘の通りです。組織体制を毎年改編して改善を図っています。 	
監査項目		監査人	被監査事業所 重心通所さくら
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
K A Z E G R A M	送迎1/(お迎え)⑦預かり/⑧乗車介助/⑨乗車中の配慮/ ⑩送迎留意点/⑪実績押印/ ⑫引き渡し	<ul style="list-style-type: none"> ・安全第一で「毎時50キロメートル走行」を行っている。 ・ルートや利用者の情報は口頭で伝達したり、ヒヤリハットを活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両のコスリなどの軽微な損傷について怠らずに報告できるようになってきています。 ・ヒヤリハットはkintoneで共有しています。
	活動の支援1/(あいさつ)①担当する利用者への挨拶/②周囲の人への挨拶/③入口のサイン(チャイムなど)/④ネームサイン	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶のチャイムとして、メンバー(ご利用者)に活動のはじめと終わりの生活のリズムを感じてもらうために、玄関にあるチャイムを鳴らしてもらう。 	
	活動の支援2/(相談)①活動の相談/②具体物やシンボルの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・マンツーマンでの対応で、個々の意思の尊重をしながら活動の相談をメンバー本人としていた。「こちらの誘導が主体にならないように気を付けている」と話があった。 ・個人ファイルがあり、それぞれの支援計画が記載されており随時変更点を赤字で修正していった。(写真付きで理解しやすい) ・個別ケアマニュアルの更新がしばらく出来ていないファイルもあったので、修正が必要と思われる。(計画的に行うようにする) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケアマニュアルの更新が課題であるため、更新時期について設定をしました。 ・個別支援計画のモニタリングと作成時に本人・家族と一緒に確認していく計画です。(年二回、随時)その際、併せて個別ケアマニュアルの見直しを行います。

監査項目		監査人	被監査事業所 重心通所さくら
大項目	中項目	【観察と聞き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
K A Z E G R A M	健康観察・機器確認1/(健康観察)①健康観察(定時)/②記録	<ul style="list-style-type: none"> メンバーの急変があるので、1名対応の時は対応に追われる。が、支援員が「喀痰吸引」の資格を取得してサポートしてくれるので助かっている。→現場での随時対応のチームワークが取れていると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師体制を整えることが常に課題です。看護師がいないと利用も促進されません。 看護師による、支援員の医療ケア研修も必要です。
	食事1/①食事の準備	<ul style="list-style-type: none"> 風の村さくらの栄養士がメニューを考えて、施設内厨房で調理している。 ミキサー食などの個別対応をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 食形態、アレルギー、そのほか個別の対応を厨房はよくやってくれています。
	排泄1/①排泄状況の確認/②定時でのトイレ誘導/③トイレでの排泄介助/④気持ちよさの共有/⑤オムツ交換/⑥トイレ介助	<ul style="list-style-type: none"> 聴取したスタッフは、KAZEGRAMの活用をしていないということだったが、「排泄ケア」については、KAZEGRAM通りの返答があり、現場の基本に沿ったKAZEGRAMがつくられていると感じた。  	<ul style="list-style-type: none"> KAZEGRAMは事業所のパソコン台数が少なく、個人のモバイルを使える職員も限られていて都度使用がしにくい状況です。紙ベースでの閲覧ができるようになります(2月末)。
利用 者 処 遇	車両事故対応	送迎中に、時間が変更になると思われた時には支援員が事業所に連絡をしてご家族に伝達してもらうようにしている。	急変時対応も含めて考え、原則として全車両に事業携帯電話を配備しています。
	委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> 家族会開催 2回/年(イベント時に同時開催) 1/3~1/2ほどの出席率。 事業所内で起こった、事故報告や行事報告。 	
利用 者 処 遇	生活環境	<ul style="list-style-type: none"> においがせず、清潔が保たれていた。 移動がスムーズにでき、安全を考えて配置されている。 メンバー個人の防災用品の準備があり、すぐに取り出せるところにあった。(看護師が家族と相談して管理している) 個人に合わせた非常時備品があった。 KAZEGRAMに避難関連の様式がなかったが、事業所の周辺環境や利用者の特徴などを踏まえて、キッチンと確立したほうがよいと思われた。 避難路について、駐車場側が崖なこともあり、本番に備えての訓練が重要と感じた。  	<ul style="list-style-type: none"> 避難については建物構造上の問題があります。消防署に相談し避難方法などに助言をもらったうえで考えていきます。(3月の避難訓練時に相談予定)

監査項目		監査人	被監査事業所 重心通所さくら
大項目	中項目	【観察と聴き取りによるGOODPOINTと改善が必要と思われる点】	【回答 改善策(期日)】
	利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 入浴料金について確認。→1回1000円(看護師付500円プラス) 妥当な料金と思われる。 担当支援員と介助者2名で対応しているため、1日で対応できる人数が半日で2名ほどとなっている。 	
労働衛生	衛生委員会活動	<ul style="list-style-type: none"> エリアで開催 重心通所さくらは常時50名以上なので単体開催が必要ではなか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「常時50名以上」ということで微妙な人数で推移してきたため共催という形をとってきた。来年度単体開催が適切かどうか産業医を相談したい。(2018年4月)
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 休憩室は用意されていた。 もう少し情報共有の場として活用できるとよいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> 休憩室利用者は全職員の1/5程度で(常勤、A契約の者)、情報共有の場とはなりにくいです。
その他	研修	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画にそって実行。外部講師・・・「摂食」をテーマに外部講師を呼んだ。 研修担当配置。 研修案内がボードに記されていた。 	
	情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 事業所ミーティング→1回/月 職員数70名位 出席率低い(メールなどで周知するが、PCなどを持っていない職員もいる) 職員間での情報共有率を高める為の対策を考えたほうがよい。 情報共有が不足していると話がある。(日々の活動の伝達。事務連絡・当日キャンセルの連絡等) 全体的な業務について、現場の職員はKAZEGRAMを活用しているという話はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有にkintoneを活用しているが、見ることができない者もいて対策としては十分ではない。 情報共有の改善のために、利用者のキャンセル等の情報を事務室内からロビーのホワイトボードに移動した。(11月実施)。より細かい(なぜ休んでいるか、いつまで休みかなど)情報についてもロビーに出したいが、個人情報の開示との兼ね合いで躊躇している。 KAZEGRAMは閲覧する環境・習慣・必要性がないことが活用しにくい原因とみられる。本来の趣旨とは異なりますが、紙ベースで打ち出したものを用意して閲覧環境の改善を図ります。(2月末)